

第3回 計画策定部会

議事録（要旨）

1. 開催日時 平成25年3月5日（火）
2. 出席委員：今村部会長、斎藤委員、田中委員、松本委員、吉丸委員
3. 報告・審議事項
 - (1) 資料説明
 - (2) 地区ごとの歴史的変遷と性格、構成要素の整理
 - (3) 「熊本城の管理に関する取扱要領」について
4. 審議・会議録（要旨）
 - (1) 資料説明
 - 《事務局説明》
 - ・ 事前に事務局より、保存管理計画（案）を送付。
 - ・ （案）作成に際し整理した内容について説明
 - 《意見》
 - ・ 旧城域の多くは用途区域の中の第2種住居地域になっているが、藤崎台球場等は不適格ではないのか。不適格なものがあればそれらのリストアップ、不適格なものがその地域に建てられた経緯をまとめてほしい。
 - ・ 熊本城が熊本市のどういう地理的位置にあるのか、日本の城郭の中でどういう位置にあるのか、市民や県民にとってどういう存在なのかに言及してみてもどうか。
 - 《審議を受けて》
 - ・ 上記の意見については、今後対応していく。
 - ・ S57版にある熊本城や城域、惣構の歴史的考察については、見直しを行う。
 - (2) 地区ごとの歴史的変遷と性格、構成要素の整理
 - 《事務局説明》
 - ・ 本丸地区、二の丸地区、三の丸地区、古城地区、千葉城地区、新町地区について、歴史的変遷や性格、構成要素についての事務局の見解を説明。
 - 《意見》
 - ・ 本質的価値を構成する枢要の諸要素の中に地下遺構を追加すべき。
 - ・ 復元建造物、植生については、どのように要素に振り分けるのか再検討が必要。
 - ・ 本質的価値を構成する枢要の諸要素以外の要素については、旧城域に入ってきた経緯を確認すべき。
 - 《審議を受けて》
 - ・ 要素の振り分けについては再検討し、次回部会までに報告する。

(3)「熊本城の管理に関する取扱要領」について

《事務局説明》

- ・ 当初の想定を超える火器使用の現状変更等の申請を受けており、事務局として見直しを進めている。

《意見》

- ・ 火器の種類と規模について、精査が必要である。
- ・ 消防局との協議の中で、事務局がルールを決め込んでいくべき。

《審議結果》

- ・ 今回の意見を踏まえて、市文化財保護委員会や県、文化庁と見直しに向けての協議を行う。